

1. 課題の量が知りたいです。

学年や教科により量は異なりますが、中学校までと比べたら多くなると思います。具体的には、紙ベースの課題の他に観点別評価のためにパソコンを用いたプレゼンテーションや音読の録音などの提出もあります。

2. 国公立大学などの進学対策として西陵高校ならではの強みはありますか

1・2年次は、全員受験の模試の他に希望者のみ受験することができる模試の開催やGTECや英検などの受験も可能です。3年次は、月に1回程度の模試や6月以降は、放課後に補習を行い、共通テストや大学の個別学力2次試験に備えていきます。生徒一人一人の特長を生かして進路実現につなげており、総合型選抜や学校推薦型選抜への指導も学年を超えた全教員で手厚く行い、合格率が非常に高いです。

3. 学校でかかる費用を教えてください

おおまかな数字となりますが、入学時には、入学手続きや制服などの購入のため、約10万円ほどの支出があります。3年間を通しては、毎月2,900円ほどの諸納金の納入があるほか、模試代などの進路関係の納金が1・2年次は年間約30,000円程度、3年次は年間70,000円程度あります。この他に各教科の教科書や教材の購入が必要となります。また、授業料に関しまして、令和7年度は就学支援金と臨時支援金によって保護者による負担は生じておりません。尚、臨時支援金については申請を行わなければ授業料の保護者負担が生じることになります。

4. 卒業後の進学先などを知りたいです

年によって異なりますが、卒業生の4割～5割程度が国公立大学へ進学します。4割～5割は私立大学や各種専門学校へ進学し、就職する生徒は1%未満です。進学先の具体的な学校名につきましては、お手元の学校案内をご覧ください。

5. 西陵高校の強みと弱みを教えてください

まず強みとしては、立地と敷地の広さです。長崎・諫早・大村・雲仙など多方面からの通学が可能で、もちろん徒歩や自転車で通っている生徒もいます。自家用車による送迎の際には敷地内に入構して乗り降りができます。また、各行事では駐車場を開放し、保護者の方がご来校しやすい体制を整えています。そして何より活発な部活動と確かな進路保障が強みとして挙げられます。文武両道を目指し互いに切磋琢磨することで友愛の精神が育ち、かけがえのない友を得ることもできます。弱みとしては、学校の魅力を十分に発信しきれていないことです。この解決策として、最近、学校のインスタグラムを始めました。ぜひとも皆さんに登録してもらい、学校の良いところをお伝えしていきたいと考えています。

6. スマホの持ち込み、アルバイトの可否、部活動は全員入部か教えてください。

携帯電話、スマートフォンを持参することは可能です。下足室に置き、緊急の場合を除いて学校の敷地内では使用できません。アルバイトはできません。部活動は入部を推奨していますが、義務付けているわけではありません。